

純正ミラー交換タイプ/2カメラ同時録画対応

デジタルルームミラー

【取扱説明書】

MDR-A001A/B

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

目 次

■使用上のご注意	1
■安全上のご注意	4
■付属品	7
■本体各部名称	8
■取付作業の前に	9
■取付時のご注意	10
■本体・フロントカメラの取付	11
■配線方法	15
■リアカメラの取付	17
■microSDカードの挿入・取り出し	19
■電源のON/OFF	20
■表示切替	21
■操作画面	22
■デジタルルームミラー	23
■バック連動	24
■メインメニュー画面	25
■録画設定	26
■録画モード	27
■本体設定	28
■再生画面	31
■パソコンで再生する	32
■よくある質問	33
■製品仕様	34
■ファームウエアについて	35
■商品保証書	36

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- フロントカメラ映像を表示したまま運転しないでください。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。ロックファイル(手動、衝撃検知)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合は、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
 - 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
 - 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
 - 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
 - 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
 - 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
 - 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
 - 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合
 - ※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。
 - 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
 - 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合
- ※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。

使用上のご注意

11.雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。

12.衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

13.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

■本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。

■本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。

■故障や本体の使用中によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わざいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

■録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。

■録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。

■運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わず事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。

■本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。

microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。

■本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。

■車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。

■記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。

■本機以外で記録した映像を見るためには、パソコンおよびSDカードリーダーライターが必要です。必要な機器は、別途ご準備ください。

■LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

使用上のご注意

【microSDカードについてのご注意】

下記仕様のmicroSDカードをご利用ください。

記録媒体:microSDHC／microSDXCカード

容量:8～128GB

スピードクラス:Class 10

バスインターフェーススピード:UHS-I, UHS-II

※上記仕様を満たしていてもご利用頂けない場合があります。あらかじめご了承ください。

※容量が256GB以上のmicroSDXCメモリーカードは、本機では使用できません。

※本書では、上記のメモリーカードを「microSDカード」と表記しています。

- 記録媒体の仕様をご確認の上、必要に応じてご準備ください。仕様に合致していても動作しない可能性がありますのでご了承ください。
- 安心してご利用いただくために、microSDカードは1ヶ月に1回はフォーマットしてご利用ください。microSDカードは消耗品です。寿命がありますので定期的な交換をお勧めします。
- 電源をONにした状態や駐車監視モード中にmicroSDカードの抜挿しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。
- microSDカードをフォーマットする際は必ず本機で行ってください。
- パソコンによるmicroSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、microSDカードや本機の故障の原因となります。

【駐車監視についてのご注意】

- 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。
(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- 駐車監視機能の使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行ってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 長時間録画を行う場合、microSDカードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。



警告

■本機はDC12Vマイナスアース車専用です。

12V車以外では使用しないでください。

■本機を分解したり、改造しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

■音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。

規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

■本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。

■機器内部に水や異物を入れないでください。

発煙、発火、感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。

落雷により、感電の危険性があります。

■本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。

■microSDカード挿入口に異物を入れないでください。

火災や感電の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようしてください。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)
- クリーナーなどのスプレー や水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれカメラが脱落するおそれがあります。

安全上のご注意

- microSDカードを抜く場合は録画設定にてSDカード取り出しの操作をしてから抜いてください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えすることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがあります、カメラの異常ではありません。
- ※ブルーミング現象：強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

付属品



本体



フロントカメラ



電源ケーブル



本体取付ステー



配線カバー



リアカメラ接続ケーブル



フロントカメラ
ステー

MDR-A001A

車外設置リアカメラ



または

MDR-A001B

車内設置リアカメラ

調整アダプター



※本書で使用している写真は、実際の製品と異なる場合があります。

※仕様およびデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

あらかじめご了承ください。

本体各部名称

本機の各部名称は以下の通りです。



液晶モニター



microSDスロット

電源ボタン

マイク

取付作業の前に

■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。
お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー（プラス、マイナス、星形T20）、ニッパー、ペンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤーが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。

■作業の進め方

- 1.同梱物を確認する
- 2.本取付前に動作確認する
- 3.ミラー本体・フロントカメラを取り付ける
- 4.本体と各ケーブルを接続する
- 5.リアカメラを取り付ける
- 6.バッテリーのマイナス端子を元に戻す
- 7.カメラ角度を微調整する

■本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するか仮配線して確認してください。

- 1.バッテリーのマイナス端子を外す。
- 2.本体に電源ケーブル、フロントカメラ、リアカメラを接続する。
- 3.電源ケーブルのACC、BATTをヒューズボックスに接続し、マイナス端子を車体のアースに接続する。
- 4.microSDカードを装着する。※1、※2
- 5.動作確認する（フロント・リアカメラ録画）※3
- 6.電源OFFする。バッテリーのマイナス端子を外し、本取付を行う。

※1.microSDはClass10以上、128GBまでのカードをご利用ください。

※2.SDカードは本体でフォーマットを行ってください。

※3.録画中は設定操作できません。録画停止してから設定を行ってください。



マイナス端子を 外す際の注意

- 純正カーナビの暗証番号の再入力が必要です。
- カーナビの設定がリセットされます。
- 時計がリセットされます。
- その他、電子機器の再設定が必要です。

取付時のご注意

- 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。
- ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。
車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
- 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
- 取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
- 両面テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
- 先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取付を行ってください。
- 取付後24時間以内はカメラに無理な力をかけないでください。
- 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
- 本製品を動作するには定格DC12Vの電圧が必要です。定格外電圧では動作しません。
複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧降下する可能性があります。
その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
- 接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディーと接触するとショートします。
- リアカメラを取付ける位置は「道路運送車両の保安基準第18条」に適合させる必要がありますので、ご注意ください。

本体・フロントカメラの取付

記載の取付手順は一例です。 ※取付前に仮配線して動作確認してください。

1



純正ミラーを根元から外します。

※外し方が判らない場合は
ディーラーへお問い合わせください。

2

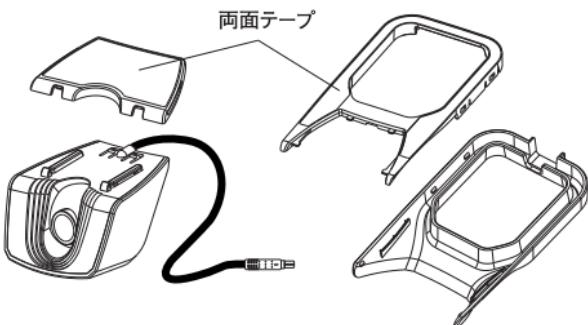


ミラー本体のネジを外し、取付ステーを取り付け
外したネジを差し込み固定します。

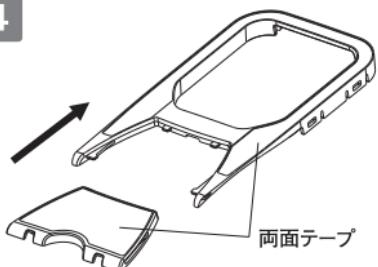
3

フロントカメラ、
フロントカメラステーの
上ぶたを外します。

※無理な力を加えると
部品破損の原因に
なりますのでご注意ください。

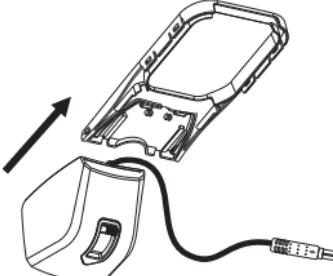


4



それぞれの上ぶたを接続します。

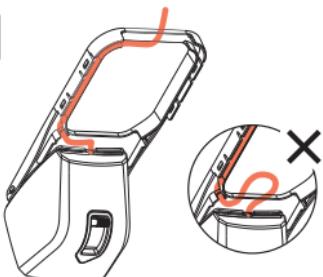
5



フロントカメラをはめ込みます。

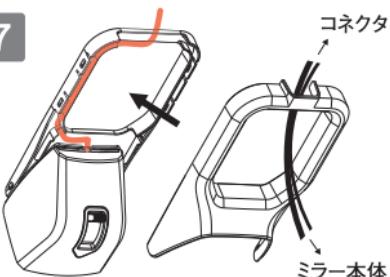
本体・フロントカメラの取付

6



ケーブルをステーのくぼみに這わせます。
※ケーブルがはみ出ないようにしてください。

7



ミラー本体から伸びたケーブルを
ステーの穴に通し上ぶたに接続します。

8



本体の取付ステーをフロントカメラステーに
くぐらせてウェッジマウントに差し込みます。

9



純正ミラーの固定ネジを利用して
本体を固定します。

10



フロントカメラ・フロントカメラステーの
両面テープをフロントガラスに貼り付けます。

※事前にマスキングテープなどを使用して貼り付ける
位置を決めておくと綺麗に仕上がります。

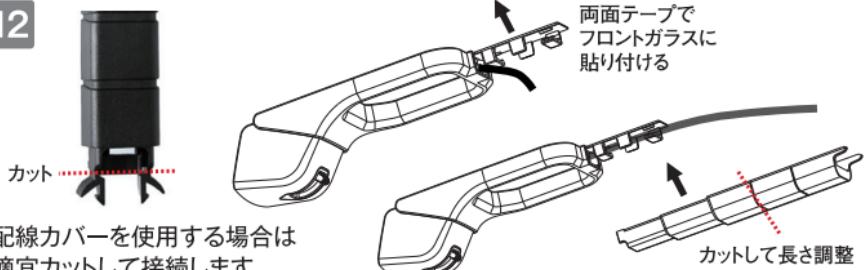
11



レバーを上下してフロントカメラの
角度を調整します。

本体・フロントカメラの取付

12



取付イメージ



カメライメージセンサーの仕様上、内部発熱によりカメラ筐体表面や角度調整レバー部分の温度が上昇します。使用中、使用後しばらくは大変熱くなっていますので直接触れないでください。

■自動ブレーキシステム搭載車などフロントカメラステーが使用できない車種の場合

配線カバーを本体取付ステーに接続して車両に装着します。

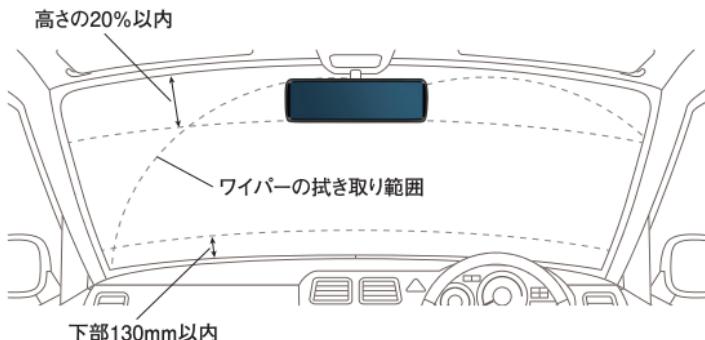


本体・フロントカメラの取付

■フロントガラスへの取り付け指定位置

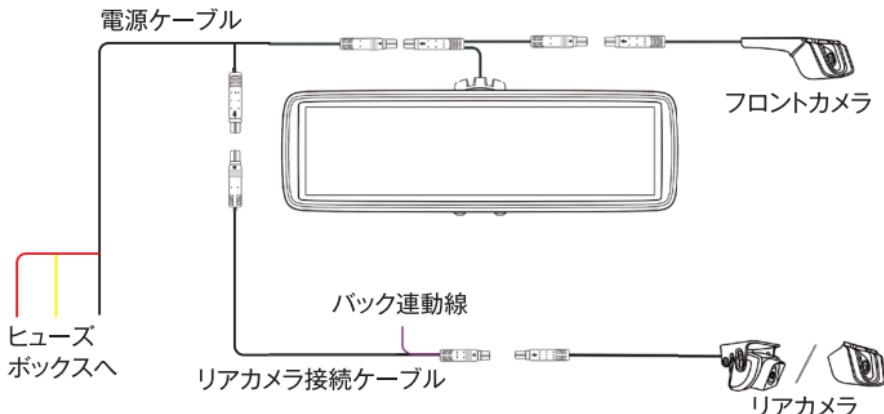
フロントカメラは、以下の条件を全て満たす車両および位置に取り付けてください。

- フロントガラスの高さの上縁から20%以内の位置（ウエザーストリップ、モール等と重なる部分およびマスキングが施されている部分を除く実長の20%以内の範囲）あるいは、運転席から見てルームミラーの陰に隠れる位置また、下部130mm以内の位置
- フロントカメラのレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- フロントカメラのレンズ部分がサンシェードやクロセラライン・クロセラバターンにかかるない位置
- 車検ステッカーと重ならない位置
- フロントカメラが前方および左右に対しても水平方向を向く位置
- フロントカメラのケーブルが無理なく引き回せる位置



配線方法

■配線イメージ



■配線方法

車両の内装、ピラーの外し方は各自動車メーカーにご相談ください。

- 1 本体から出ているコネクターに、電源ケーブル・各カメラ接続ケーブルをカチッとロックがかかるまで挿入します。

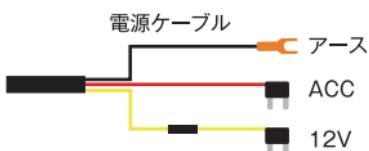
※コネクターの名称、矢印方向(向き)をご確認の上、奥までさして下さい。
無理に接続すると中のピンが曲がってしまい動作不良の原因になります。

- 2 ケーブルをルーフライニング内に押し込みます。
ルーフライニング、フロントサイドピラーライニング内を通して、電源ケーブルをヒューズボックスまで引き回します。



配線方法

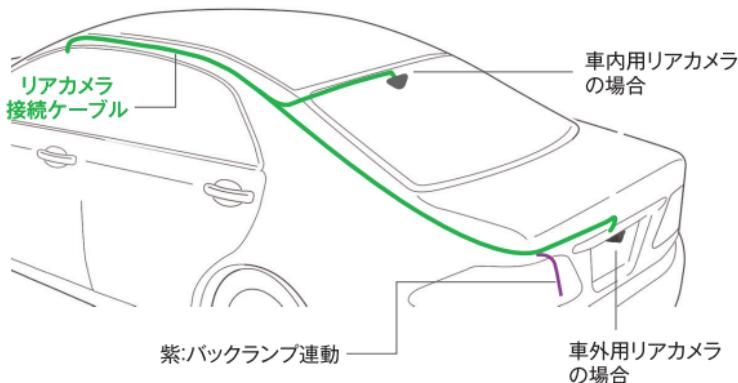
- 3 電源ケーブルをヒューズボックス内の対応するヒューズに差し込み、アースを接続します。



イメージ

※付属のヒューズは10Aミニ平型です。

- 4 リアカメラ接続ケーブルをピラー内部を這わせて後部に通し、リアカメラに接続します。



※バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線を行なってください。リアカメラ及びケーブルに損傷ができるとカメラ内部やケーブルに水が入り破損の原因となることがあります。

リアカメラの取付

■車外設置用リアカメラの場合

ナンバープレート上部に両面テープで貼り付けます。

※イメージ



車外取り付け上のご注意

- 本製品のカメラを指定通り正しく取り付けないと「道路運送車両の保安基準」に適合しない場合があります。
- ※道路運送車両の保安基準とは「道路運送車両の保安基準第18条及び細目を定める告示第178条」をいいます。

- カメラブラケットやカメラ後部が車両に隠れるようリアガーニッシュやリアspoilerなどの下面に取り付けてください。
- ナンバープレートのナンバーがカメラで隠れないように注意してください。

■車内設置用リアカメラの場合

リア窓ガラス内側の下記条件を満たす位置に両面テープで貼り付けます。

※イメージ



推奨取付位置

- ワイパーの可動範囲にカメラ部がかかる位置
- 後方および左右に対して水平方向を向く位置
- レンズ部分が熱線と重ならない位置
- 接続ケーブルが無理なく引き回せる位置



カメライメージセンサーの仕様上、内部発熱により筐体表面や角度調整レバー部分の温度が上昇します。使用中、使用後しばらくは大変熱くなっていますので直接触れないでください。

リアカメラの取付

■リアカメラ調整アダプターについて（車内設置リアカメラ）

N-BOXなど、リアガラスが垂直になっている車種のリアカメラの取り付けには、角度調整アダプターを使用してください。

- カメラレンズを水平に向けることができます。
- 使用しないと映像がやや地面側に向きます。

【アダプター装着前】



【アダプター装着後】



■アダプター装着方法

1



リアカメラから既存のアダプターをスライドさせて外します。

2



角度調整アダプターの配線逃し口のゴムを外します。

3



リアカメラの配線を通しながら、角度調整アダプターを装着します。

4



角度調整アダプターをこの位置まではめ込みます。

microSDカードの挿入・取り出し

■カードを挿入する

本体右、microSDスロットにmicroSDカードを挿入します。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



■カードを取り出す

録画設定にてSDカード取り出しの操作をしてから抜いてください。

microSDカードを押してカードが少し飛び出たら引き抜きます。

※カードを取り出す際に飛び出しがありますので、紛失にご注意ください。



※microSDカードはClass10以上、かつFAT32フォーマット、128GBまでものご利用ください。

※初回ご利用する際には録画設定にてmicroSDカードをフォーマットしてください。

※64～128GBのmicroSDカードの場合、挿入時にカードを認識しない表示が出ることがあります。録画設定にてフォーマットすれば認識されるようになります。

電源のON/OFF

■電源のON

車のエンジンを始動(ACCをON)すると自動的に起動します。

システム起動のため十数秒かかります。

起動後フロント/リアの2カメラで録画を開始します。



■電源のOFF

車両のエンジンを停止(ACCをOFF)すると、自動的に停止します。



■本機の電源を手動でOFFにする

本機の電源がONのときに電源ボタンを3秒以上押すと、再起動・シャットダウン(電源OFF)を選択できます。

電源OFFの状態で1回短押しすると電源ONにできます。

※エンジンスイッチが「OFF」のときには手動で電源を「ON」にできません。

表示切替

起動後は前回電源OFFする前に表示していた画面を表示します。

カメラ切替ボタン・表示画面を短押ししてフロント/リア映像表示などの切り替えができます。

リアカメラ



フロントカメラ



フロントカメラ
+
リアカメラ



※フロント/リアどちらかの画面をタッチすると全画面表示します。

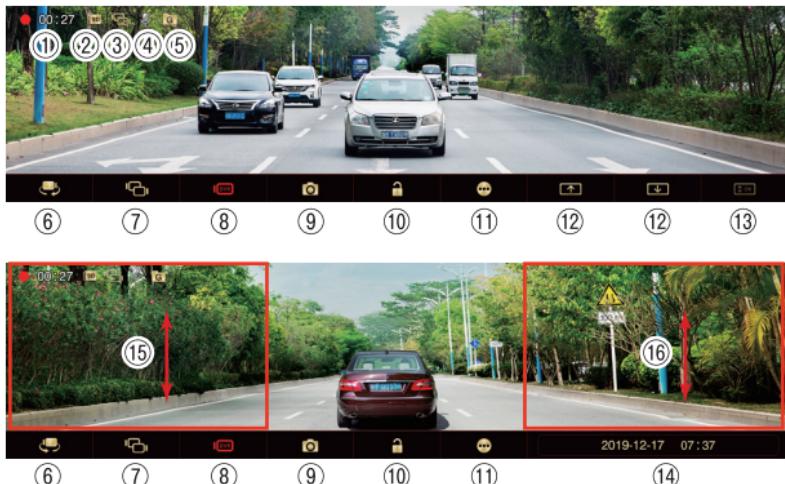
また電源ボタンを短押しすると表示OFFになり、通常のミラーとして使用できます。



※表示OFFの時に電源を切り、再度起動すると画面表示OFFの状態になります。

操作画面

画面をタッチすると操作画面が表示されます。



- ①録画時間…録画時間を表示します。
- ②microSDカード状態…microSDカード状態(正常/異常/なし)を表示します。
- ③録画状態…録画状態(前後カメラ同時/録画していない)を表示します。
- ④録音状態…録音(ON/OFF)を表示します。
- ⑤衝撃録画ファイル表示…未再生の衝撃録画ファイルがある場合に表示します。
- ⑥カメラ切替ボタン…前後カメラ表示画面を切り替えます。
- ⑦前後同時表示ボタン…前後同時/後方のみ/前方のみのカメラ映像表示を切り替えます。
- ⑧録画ON/OFFボタン…前後各カメラによる録画を停止/再開します。
- ⑨静止画撮影ボタン…前後各カメラにて静止画を撮影します。
- ⑩録画ロックボタン…撮影中の録画映像をロックします。
- ⑪メインメニュー ボタン…メインメニュー設定に移動します。
- ⑫アングル調整ボタン…リアカメラ表示アングルを上下に微調整します。
- ⑬アングル確認ボタン…調整したアングルを保存します。
- ⑭日時表示…タッチすると日時設定に移動します。
- ⑮輝度調整…画面左側を上下方向にスライドして輝度を調整します。
- ⑯アングル調整…画面右側を上下方向にスライドして表示アングルを調整します。



日時表示について

期間を開けて使用する場合は日時表示や各種設定がリセットされることがあります。
日時を手動で設定し直してください。

デジタルルームミラー

リアカメラ映像表示でデジタルルームミラーとして使用できます。

画面をタッチして上下にスライドまたはアングル調整ボタン操作で表示アングルを調整できます。



またカメラ表示画角調整ができ、距離感のつかみやすい画角にお好みで調整できます。
画角調整は本体設定「リアカメラ」より行います。

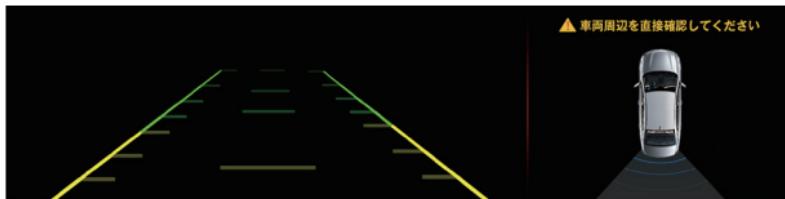


バック連動

バックギアを入力するとバック連動画面に切替わります。
画面を上下にスワイプすると角度が調整できます。
調整後にバック連動すると画面がその角度で表示されます。

他のギアを入れると元の画面に戻ります。

「安全設定」でバック連動のON/OFF、ガイドラインの表示/非表示の設定ができます。
バック連動がONの場合、ガイドラインの設定が可能となります。
ガイドラインが表示の場合、ガイドラインの高さを「高/中/低」で設定することができます。



メインメニュー画面

「メインメニューボタン」を押して、【メインメニュー画面】に移動します。



- ①戻るボタン…1つ前の画面に戻ります。
- ②デジタルミラーモードへ戻る…デジタルミラー画面に切り替わります。
- ③再生ボタン…再生画面に移動します。
- ④録画設定ボタン…ドライブレコーダー機能設定画面に移動します。
- ⑤本体設定ボタン…各種設定画面に移動します。
- ⑥日時表示

録画設定

メインメニューで「録画設定ボタン」を押して、【録画設定画面】に移動します。



自動録画、日付ラベル、および録音、Gセンサー感度などの設定ができます。

自動録画…エンジン運動で自動的に録画開始する/しないを選択

日付ラベル…録画ファイルに日時表示する/しないを選択

音声録音…録音のON/OFFを選択

Gセンサー感度…Gセンサーの感度を選択

SDカードのフォーマット…microSDカードをフォーマットします

SDカード取り出し…microSDカードを安全に取り出します

※この操作を行わずにmicroSDカードを取り外すとデータが
破損してしまう可能性があります。

録画モード

■通常録画

車のエンジンに連動して電源がONになり、録画が開始されます。

録画時間は1分で固定です。(ループ録画)

microSDカードの録画領域がいっぱいになると、古いファイルから新しいファイルに上書き録画されていきます。



■緊急録画

Gセンサーが衝撃を検知すると、通常の録画を中断し緊急録画モードに切り替わります。

衝撃検知時から27秒間の緊急録画ファイルとして保存します。

緊急録画が終了すると、通常録画に戻ります。



■衝撃録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に上書きします。

必要に応じて、microSDカードのデータをパソコンに保存してください。

本体設定

メインメニューで「本体設定ボタン」を押して、【本体設定画面】に移動します。
本体設定には、システム情報、日時設定、画面表示設定、安全設定があります。

■システム情報



型番…本製品の型番を表示します。

QRコード…使用しません。

バージョン情報…バージョンを表示します。

設定初期化…各種設定を初期化します。

■日時設定



各項目ごとに数値を入力して日時を設定します。

本体設定

■画面表示設定

画面の輝度を調整できます。



輝度調整について:

モニターの輝度を時間帯によって調整できます。

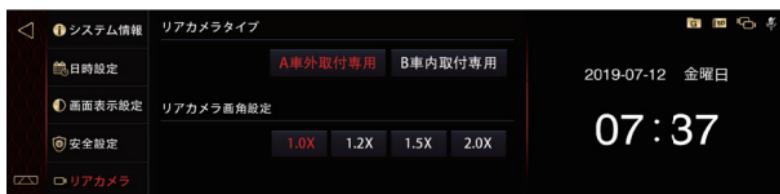
昼間(07:00～19:00)/夜間(19:00～07:00)

※時間帯の設定変更はできます。

※昼間の時間帯では夜間の設定ができません。それぞれの時間帯内に設定してください。

■リアカメラ設定

リアカメラのタイプや画角の設定ができます。



リアカメラ画角調整について:

リアカメラ表示の画角を広角から通常のミラーに近い画角までお好みに合わせて調整できます。

リアカメラタイプにより調整できる画角が異なります。

車外設置リアカメラ(MDR-A001A)…A車外取付専用を選択

車内設置リアカメラ(MDR-A001B)…B車内取付専用を選択

本体設定

■安全設定

その他の安全補助機能の設定画面です。



【駐車監視設定について】

駐車監視録画の設定を選択します。

OFF…駐車監視録画をOFFにします。

衝撃感知録画…エンジンOFF時に27秒録画し、衝撃感知モードに入ります。

車体への衝撃を感じた時のみ27秒間の衝撃感知録画を開始します。

タイムラプス…1秒に1コマずつ録画してコマ送り動画を記録するタイムラプス撮影を行います。タイムラプス撮影を実行する時間を選択します。

エンジンOFFするとタイムラプス撮影を始めます。

タイムラプス+衝撃感知…タイムラプス撮影中に衝撃を感じると、タイムラプス撮影を中断し27秒間の衝撃感知録画を行います。

※駐車中は電源ボタン周囲のランプが赤く点滅します。

※衝撃感知録画中はランプが点灯します。

停止電圧設定…指定した電圧以下になると電源がOFFになります。

電源異常警告…電源に異常がある場合に警告する/しないを設定します。

バック運動…バック運動のON/OFFを設定します。

バックガイドライン…バック運動時にガイドラインを表示/非表示を設定します。



駐車監視機能の停止について

バッテリーの電圧が設定した保護電圧値よりも5分以上、下がれば駐車監視機能が停止します。

それぞれの機能の保護電圧値は以下のように設定されています。

●衝撃検知録画:11.3V固定 ●タイムラプス録画:11.3V～12.2Vで設定可能

再生画面

メインメニューで「再生」ボタンを押して、【再生画面】に移動します。
再生リストから任意のフォルダを開いていき、再生したいファイルを選択します。



録画フォルダ…通常録画ファイル及び手動ロックファイルが入っています。

ロックフォルダ…衝撃感知による緊急録画ファイルが入っています。

静止画フォルダ…静止画が入っています。



microSDをパソコンに読み込ませるとフォルダ名が変更します。

録画フォルダ⇒「DVR」 ロックフォルダ⇒「KeyDVR」 静止画フォルダ⇒「DVRPhoto」



①…前の映像に移動

②…再生/一時停止

③…次の映像に移動

④…削除

⑤…再生リストのトップに戻る

⑥…再生画面

⑦…上下にスライドしファイルをタッチすると再生開始

(ロックフォルダ)



⌚…戻る

🔒 / 🗝 …ロック中/ロック解除(アイコンをタッチすると切り替わります)

⚡…衝撃感知録画(一度再生するとアイコンが消えます)

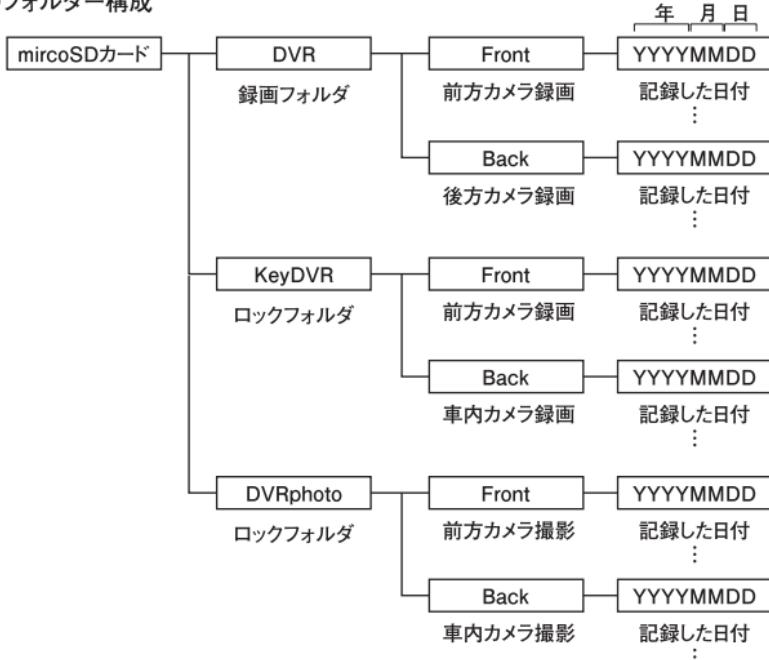
パソコンで再生する

microSDカードを本体から抜き取りパソコンに接続してください。

ファイルは.mov方式で記録されています。パソコンの動画再生ソフトで再生してください。

※音声が出ない場合は他の動画再生ソフトを使用するかパソコンや動画ソフトの設定、コーデックなど確認してください。

●フォルダー構成



●ファイル名称は以下の内容で保存されます

録画を開始した 時 分 秒
hhmmss .MOV

MOV:動画
JPG:静止画

※時分秒は本体に設定された日時情報をもとに記録されます。

例) 2020/04/20 12:15:35に通常の録画を開始したフォルダ名とファイル名

20200420 121535.MOV
121635.MOV
121735.MOV
⋮

よくある質問

ご質問	回答
電源が入らない	電源の接続をご確認ください。 本機に電源が供給されていない可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。
記録したはずの映像がない	microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。
LED信号機のライトが確認できない	映像の記録周期とLED信号機の周期によって、一瞬信号機のライトが消えて見えることがあります。 信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
microSDカードに記録できない	microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。 microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。
頻繁に衝撃録画を行う	Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感じてしまっています。 感度を低く設定してください。(高→低)
時計がずれている	期間を開けて使用する場合は日時表示がリセットされることがあります。 日時を手動で設定し直してください。
画面がフリーズする	microSDカードの書き込みエラーが発生し、本体システムに異常が発生した可能性があります。microSDカードを交換してください。

製品仕様

モニター	8.88インチIPS液晶(1920×480pixels)
使用温度範囲	-20°C～70°C
録画解像度:	1080P H.264
フレームレート	フロントカメラ27.5fps、リアカメラ25fps
ダイナミックレンジ	≥120
映像方式	NTSC
録画モード	ループ録画(1分)
記録方式	常時/緊急/駐車監視
動画ファイル形式	.MOV
メモリカード	microSDカード(最大128GB Class10必須)
電源	DC12V専用

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。

以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、隨時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧・周波数)などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

〈お客様氏名〉 様	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
〈電話番号〉	
〈ご住所〉	
〈販売店〉	〈購入日〉

MAXWIN
昌騰有限公司

商品についてのお問合せは
購入された販売店または

support@maxwin.jp
へお問い合わせください。

MAXWIN